



神港学園
神港高等学校
進路指導部
キャリアアップ
サポート通信第10号
平成28年2月15日

いよいよ卒業式が近くなりました。進路成績に、また部活動の試合やコンクールなどで、輝かしい成果を挙げた第68回生が卒業されます。心よりお祝いの言葉を送りたいと思います。

また、在校生は卒業生のアドバイスを胸に、今後も精進を重ねたいものですね。

さて今回は不動産業、デザイナーをされておられるサポーターからの回答です。質問は、1～2年生の14人からいただきました。

不動産関係について

Q1：資格は必要ですか。なるには何を勉強すればいいですか？

A1：宅地建物取引士（国家資格）の資格が必要です。平成27年4月に「宅地建物取引主任者」から名称変更致しました。「士業」としてさらなる研鑽を求められます。資格を取るための勉強としては、民法・宅建業法・建築基準法・都市計画法・税法を主軸に広く学習します。土地建物の媒介（売買・交換・賃貸）において、物件の詳細を調査し、契約締結前に重要事項説明書を作成し、説明します。昨今では、土壌汚染・地震、津波・土砂災害など、自然災害に関する法律も多岐にわたり、調査する項目も年々増加しております。不動産取引において売却する方、購入する方等、さらに近隣関係者にまでも安心・安全・適正な情報を提供します。そのために幅広い学習が必要です。

Q2：宅建免許を取得する上でやっておいた方がいいと思う教科や勉強は何ですか？

A2：勉強方法としては、ご家族の居住形態に着目して、購入して所有しているのか、賃貸で借りているのか、また、駅からの距離や利用路線など交通の便など、身近なところから、先ず「不動産」とはなんだろう？と興味をもたれてみてはいかがでしょうか。所有するとどういった税金がかかるのか、賃貸と所有することの違いなど、ご両親やご親族さまに質問してみるのもよいでしょう。単体の不動産だけでなく、街全体をみると、医療、教育、福祉、さまざまなシーンで不動産に関連する事業がたくさんあります。神戸市のHPなども多くの情報を提供しております。夏休みに、いつもとは違う角度で街のあり方を気にかけてみるだけでも、ご自身の中に将来のビジョンが見えてくるかもしれません。

参考資格としては、以下のようなものがあります。

- *不動産コンサルティングマスター（不動産近代化センター）：不動産の保有方法を提供します。
- *不動産鑑定士（国家資格）：課税の基礎となる土地の評価などを行います。
- *司法書士（国家資格）：土地、建物など登記にまつわる手続きを行います。
- *行政書士（国家資格）：契約に関する書面等を作成します。
- *公認会計士・税理士（国家資格）：税にまつわる手続きを行います。
- *土地家屋調査士（国家資格）：不動産を特定するために、面積を測量したりします。
- *弁護士（検事・裁判官）（国家資格）：法律の専門家です。
- *一級、二級建築士（国家資格）：開発や建築にかかわることの専門家です。
- *一級、二級施工管理技士：建築現場の責任者を行ったりします。

このほかにも不動産証券化に関する資格や金融にまつわる資格などなど、今ではありとあらゆる資格が提供されています。自分自身の得意分野を見極めて、多くの方に相談しながら特性に沿った進路を早く発見し努力することが大切な時代と考えています。ちなみに、私自身は「不動産鑑定士」を勉強中です。

営業デザイナー・デザイナーについて

Q1：個人経営は可能ですか、月に何回くらい仕事が来ますか？

A1：個人経営は可能です。個人経営なので仕事を受ける量は自分で決めることができます。頑張ることも、怠けることもできます。

Q2：一番大変なことは何ですか？

A2：自分の目指すデザインの仕事をさせてもらえる、人との繋がりをつくること。また、常に向上心を持って取り組むことです。

Q3：革新的なアイデアや発想はどうやって生み出されるのですか、どのような場所で考えるのですか、考える期間は決まっていますか、難しいですか？

A3：個人差はありますが、アイデアや発想は「喜怒哀楽」にヒントがあります。大自然の中にヒントを見つけることもあります。常に生み出し続ける力が必要になります。もちろん壁にぶち当たることもあるかと思いますが、壁を崩す&越えることで、更なる新しいアイデアは生まれるのではないかと思います。

Q4：営業はどんな仕事ですか？

A4：自分を高く評価してもらえよう、自分をしっかり磨き行動すること。教養、時事争論、政治・経済、立ち居振舞い、専門スキル、最後は人脈が大切です。

Q5：どうやったらなれますか、資格はありますか？

A5：デザインの勉強が必要です。資格が必要な専科もあると思います。

Q6：大学は行った方がいいですか？

A6：基礎力が必要なので大学や専門学校へ行くといいと思います。

Q7：デザインとはどのようなものですか？

A7：大きなもの（建物や公共物）から商品マークやゲームのキャラクターなど小さなものまで選択はかなり幅広いです。

Q8：画力は必要ですか、PCでデザインするのですか？

A8：鉛筆でデッサンしたものを形にするのに、PCを活用することは多いそうです。

Q9：服飾デザインについて、服を作る・デザインするのはどのようなことをしますか？

A9：洋裁、和裁など違いはありますが、イメージした服のイラストから型紙を作成して、裁断や縫製など細かな&正確な作業で形（衣装）に仕上げます。

Q10：資格はありますか？

A10：資格が必要な専科もあると思いますが、作ることが好きで、資格などなくても自由な発想で衣装を作る人もいます。

Q11：服の販売以外の仕事を教えてください。

A11：仕入、管理、広報など商品の数が多いほど、情報量も仕事内容も多くなります。

Q12：大変なことはなんですか？

A12：衣類販売に関しては、持論を押し付けることなく、お客様の要望に寄り添い、答えられる知識と経験を身につけることです。体型や好みには個人差があるので実寸をオススメしても良い結果にならないこともあります。

Q13：なるには大学と専門学校とどちらがいいですか？

A13：大学でも専門学校でも販売員になれます。「自分がどうなりたいか。それに向かった時に勉強するには何がベストか」考えてみてください。そこで、どの学校で自分を成長させたいか、たくさん情報を集めて検討してください。がんばってくださいね。（以上です）